

平成24年3月期 第2四半期

決算短信補足資料

2011年10月31日

株式会社 **JCL バイオアッセイ**

JASDAQ

証券コード:2190 売買単位:100株



2012年3月期第2四半期のポイント

1

2011年8月、米国ラボ 設立後初の売上計上

2

【連結】 売上・利益ともに当初計画達成

3

2011年7月、抗体医薬 測定サービス開始



売上高



Point

米国ラボ設立後初の売上計上

【連結・単体】減収となったものの、当初計画を達成

(単位:百万円)

売上高		2012年3月期第2四半期		2011年3月期第2四半期		前年同期比
		金額	構成比	金額	構成比	
国内	バイオアナリシス	751	80.9%	849	84.8%	88.4%
	医薬品品質安定性試験	171	18.5%	152	15.2%	112.9%
単体・合計		923	99.4%	1,001	100.0%	92.1%
米国	バイオアナリシス	5	0.6%	-	-	-
連結・合計		928	100.0%	1,001	100.0%	92.6%



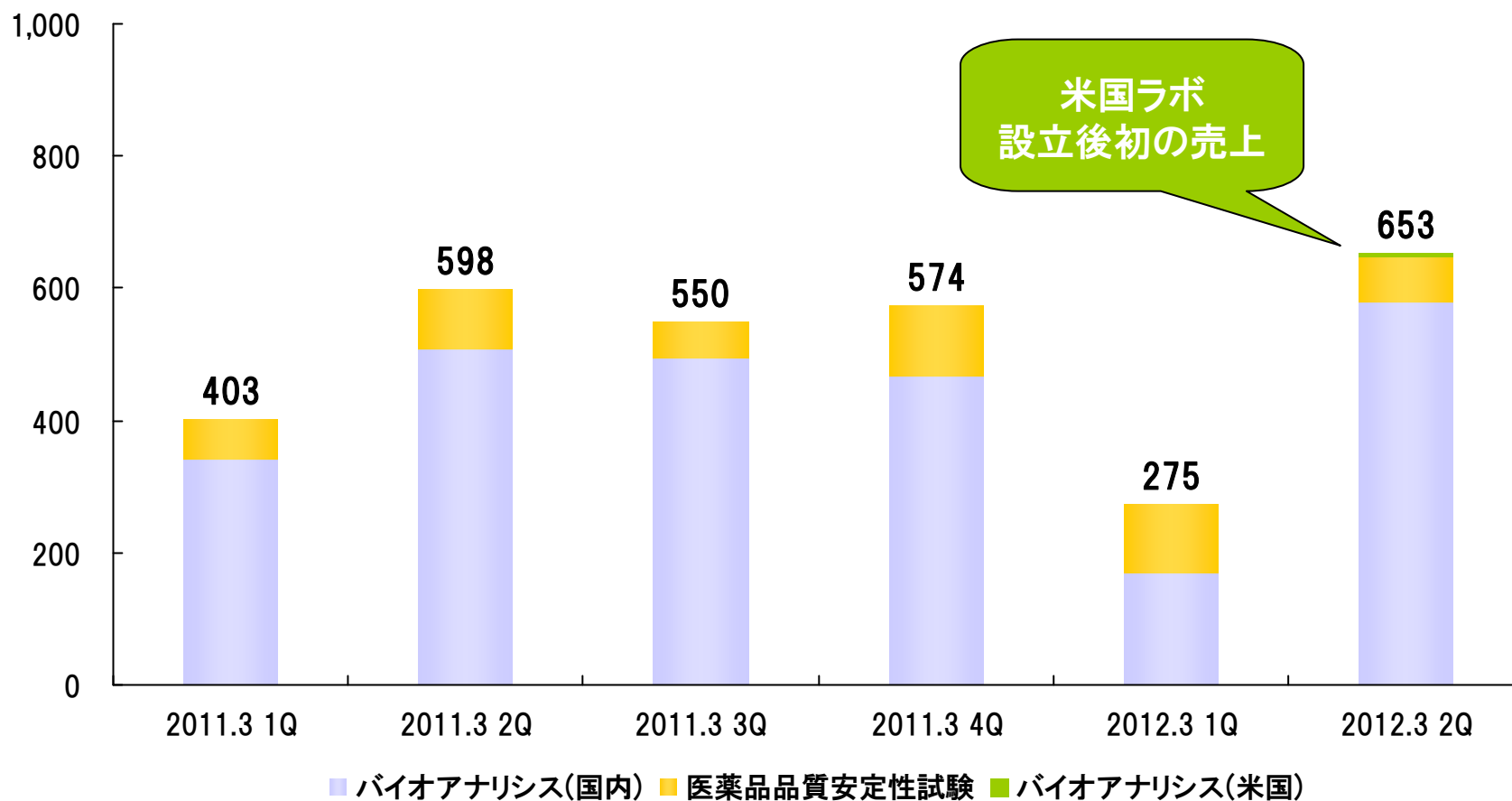
売上高の推移



Point

受注から売上計上までに平均約半年を要する
完成基準を採用しているため、3ヶ月ごとの売上に凸凹が生じる

(単位:百万円)





損益計算書(当初計画比)



Point

【連結】売上・利益ともに当初計画達成

【単体】売上は当初計画達成、利益は当初計画未達

(単位:百万円)

	2012年3月期第2四半期		当初計画		当初計画比
	金額	構成比	金額	構成比	
連結					
売上高	928	100.0%	920	100.0%	100.9%
売上総利益	151	16.4%	97	10.6%	156.0%
営業利益	▲159	-17.2%	▲274	-29.8%	-
経常利益	▲247	-26.7%	▲292	-31.7%	-
四半期純利益	▲235	-25.4%	▲302	-32.8%	-
単体					
売上高	923	100.0%	913	100.0%	101.1%
売上総利益	218	23.6%	313	34.4%	69.5%
営業利益	▲29	-3.2%	35	3.8%	-
経常利益	▲36	-3.9%	27	3.0%	-
四半期純利益	▲24	-2.6%	17	1.9%	-



損益計算書(前年同期比)



Point

【連結・単体】ともに減収減益

終了試験が少なかった(完成基準)こと、及び米国ラボへの先行投資による

(単位:百万円)

	2012年3月期第2四半期		2011年3月期第2四半期		前年同期比
	金額	構成比	金額	構成比	
連結					
売上高	928	100.0%	1,001	100.0%	92.6%
売上総利益	151	16.4%	347	34.6%	43.8%
営業利益	▲159	-17.2%	110	11.0%	-
経常利益	▲247	-26.7%	▲93	-9.4%	-
四半期純利益	▲235	-25.4%	▲143	-14.3%	-
単体					
売上高	923	100.0%	1,001	100.0%	92.1%
売上総利益	218	23.6%	347	34.6%	62.8%
営業利益	▲29	-3.2%	110	11.0%	-
経常利益	▲36	-3.9%	101	10.1%	-
四半期純利益	▲24	-2.6%	51	5.2%	-



連結貸借対照表



Point

米国ラボへの先行投資を計画通りに実施

(単位:百万円)

	2011年9月末	2011年3月末	増減額	増減率	主要因
資産	3,890	3,866	+23	+0.6%	
流動資産	1,544	1,569	-24	-1.6%	現預金の減少 201百万円 売掛金の増加 85百万円
固定資産	2,338	2,289	+49	+2.1%	前払費用の増加 41百万円 工具器具備品の増加 103百万円
繰延資産	7	7	-0	-8.8%	
負債	3,159	2,862	+297	+10.4%	
流動負債	1,438	1,308	+129	+9.9%	長期借入金の増加 232百万円 前受金の増加 126百万円
固定負債	1,721	1,553	+167	+10.8%	
純資産	730	1,004	-273	-27.3%	利益剰余金の減少 251百万円
1株当たり純資産	220.95円	303.74円	-82.79円	-27.3%	
自己資本比率	18.8%	26.0%	-	-	



連結キャッシュ・フロー計算書



Point

米国ラボへの先行投資を計画通りに実施

(単位:百万円)

	2012年3月期 〔2011年4月1日から 2011年9月30日まで〕	2011年3月期 〔2010年4月1日から 2010年9月30日まで〕	増減額	主要因
営業活動による キャッシュ・フロー	▲130	112	-243	税金等調整前四半期純損失の増加 144百万円 売上債権の増加 146百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	▲221	▲330	+109	有形・無形固定資産の取得による支出の減少 135百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	162	▲126	+288	長期借入れによる収入の増加 300百万円
現金及び現金同等物 に係る換算差額	▲12	▲24	+12	
現金及び現金同等物 の増減額(▲は減少)	▲201	▲368	+166	
現金及び現金同等物 の期首残高	847	1,362	-515	
現金及び現金同等物 の四半期末残高	645	993	-348	



有利子負債の状況



Point

米国ラボへの先行投資に向けた長期借入金の増加

(単位:百万円)

	2011年9月末	2011年3月末	増減額	増減率	主要因
有利子負債 (短期)	924	867	+56	+6.5%	一年内償還予定の社債の増加 50百万円 (社債から振替)
有利子負債 (長期)	1,542	1,389	+152	+11.0%	社債の減少 50百万円 (一年内償還予定の社債へ振替) 長期借入金の増加 232百万円
有利子負債 合計	2,467	2,257	+209	+9.3%	



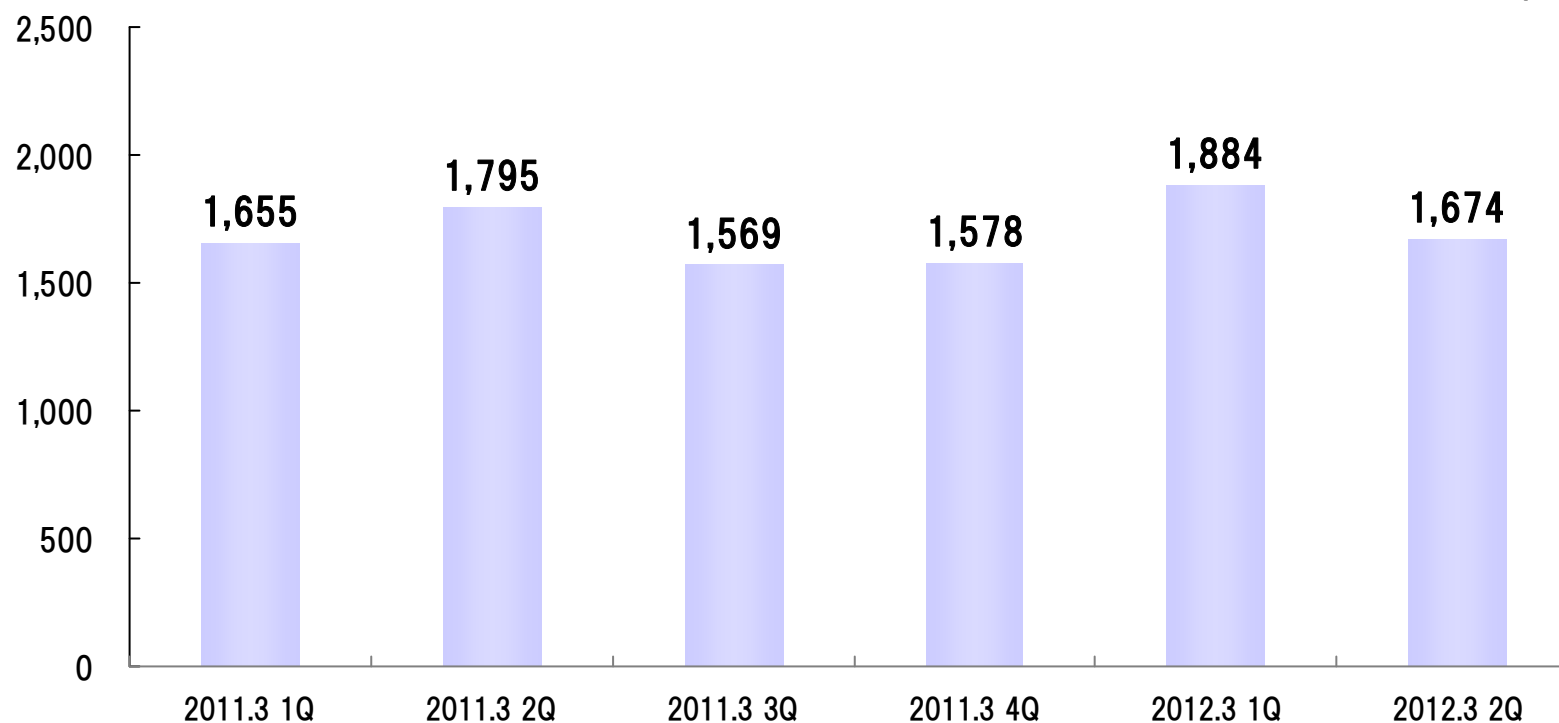
受注残の推移（国内）



Point

受注残は堅調に推移

（単位：百万円）



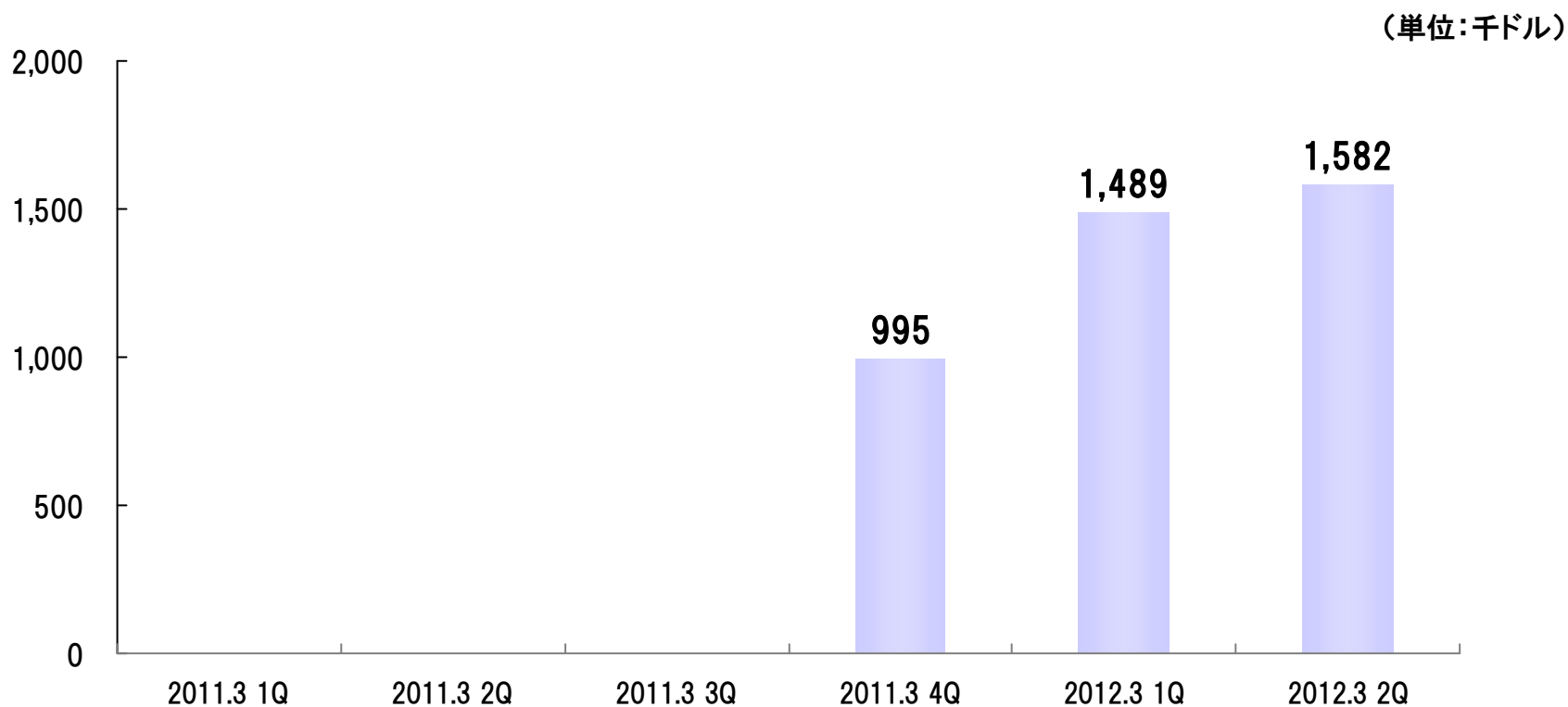


受注残の推移（米国）



Point

2011年2月の初受注獲得以後、拡大傾向





受注拡大戦略①

① グループシナジーを活用した営業活動を展開

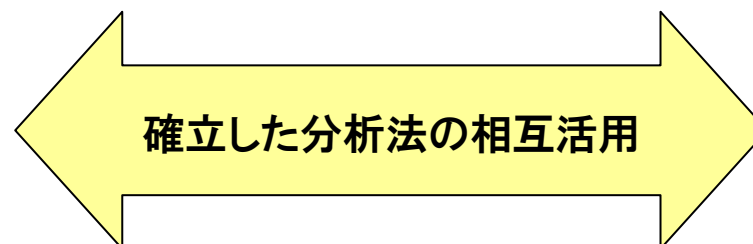
JCLバイオアッセイは

日米に研究所を有する唯一の分析CRO

【新薬の申請】

多くの製薬会社は、日米両国で新薬の承認申請を行う。

【日米研究所の連携によるメリット】



▶▶▶ 日米連携による新薬開発の効率化・スピードアップに貢献



受注拡大戦略②

② 営業力の強化による販路拡大

2011年6月、横浜オフィスを開設



営業活動の範囲拡大
関西中心から全国へ

③ 新試験項目の受託へ向けた取り組みを開始



新試験項目の受託へ向けた取り組み①

製薬会社の新薬開発動向

低分子医薬品に続き、バイオ医薬品を含む高分子医薬品に注目

バイオ医薬品とは

生物等が営む生命現象や生体機能を利用した技術によって生産された医薬品

バイオテクノロジー

+

医薬品

バイオ医薬品

ex.1) 抗体医薬品

異物から体を守るために働くタンパク質の一種である抗体を主成分とした医薬品。

ex.2) 核酸医薬品

遺伝子の構成成分である核酸(DNA等)を構造の一部に持つ医薬品。

低分子医薬品より分子量が非常に大きいため、今までの技術では分析が困難



新試験項目の受託へ向けた取り組み②

抗体医薬品

2011年7月 測定サービス開始



最新機器(ECL・ELISA)導入により
高感度化・測定レンジ拡大



核酸医薬品

当社の得意分野であるLC-MS/MSを用いた分析技術開発に取り組む

【定量分析】 2011年6月 学会発表 ～大きな反響を呼ぶ～

6/6 デンバー（米国） 59th ASMS Conference

6/17 京都 16th Annual Meeting of the RNA Society

【定性分析】 2011年4月 特許出願

特願2011-83205 オリゴヌクレオチドの配列決定法

2011年8・9月 学会発表

8/31 大阪

第7回分子複合医薬研究会

9/13 大阪

第59回質量分析総合討論会



本資料に関するお問い合わせ先



株式会社 **JCL バイオアッセイ**

経営企画室

TEL:06-4863-5020

FAX:06-4863-5021

ホームページ:<http://www.jclbio.com>

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスク及び不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。